

■通常事業評価シート【R6年度実施事業／生涯学習部図書館による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	読書活動事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	子どもの健やかな成長を図るため、子どもの読書習慣の定着に資する活動を推進する。	既存の事業に加え、生涯学習部内連携に参加し、部内連携の強化を図る事業を行った。	2：一定近づいた	継続	1,599	23,950	25,549	各課とも多忙な中、連携しようとする会議体が増え、さらに業務を圧迫する結果となっている。	第4次子ども読書活動推進計画策定し、関係課との定期的な会議を持つことで、連携企画や学校連携強化を図り、第5次子ども読書活動推進計画に繋げる。	
2	図書館運営事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	図書館資料等の提供を通して市民の知る自由を保障するとともに、生涯学習を支援するため、図書館を運営する。	図書館に来館せずとも、市民の知る自由を保障するため、電子書籍を活用してもらえるように周知を行った。	1：少し近づいた	継続	146,691	37,378	184,069	図書館運営の更なる可能性の検討が必要。	様々な市民・団体及び関係各課との連携の構築、電子書籍等の紙資料以外の所蔵の充実。	
3	図書館管理事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	図書館の施設機能を保持するため、図書館施設を適切に管理する。	老朽化した設備の補修。	2：一定近づいた	継続	24,396	6,304	30,700	老朽化した施設の維持整備。	新図書館移行までに必要な改修箇所の見極め。	
4	公共公益施設整備基金積立事業	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	図書館施設の整備のための資金に充てるため、公共公益施設整備基金を適正に管理する。	自動販売機設置スペースを民間事業者に貸し付け、その収益の一部を積み立てる。	4：大いに近づいた	継続	6	73	79	近隣の自販機設置状況を勘案し、事業の継続の必要性の検討が必要。	新たな事業者の確保の見込み。	
5	図書館管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	予算管理、文書管理、勤怠管理を行う。	5：達成した	継続	-	9,805	9,805	電子化に伴う適切な事務管理の遂行。	電子化に伴い、庶務全般について、より効率的な管理業務の遂行。	